

校長室の窓から No.14

平成27年 2月 3日
尼崎市立武庫東中学校
校長 小 谷 豪 郎

遅くなりました。新・生徒会の紹介です

大変遅くなりましたが、2学期の終わりに行った生徒会の選挙により、新執行部が選出されました。

本年度は、例年と違い、大変多くの方が各委員長に立候補してくれました。これも日頃から一生懸命みんなの事、学校全体の事を考えてくださっているお陰だと感謝しています。結果としてだめだった人も一緒に立会演説をした仲間が、代表として生徒会執行部で頑張りますからぜひ応援して下さい。

2学期にできなかったのを、始業式の日には新執行部の皆さんに、認証書を一人一人手渡しました。

《右の写真が新執行部の皆さんです》

体育委員長	保健委員長	文化委員長	風紀委員長	図書委員長	総務委員長
西本航紀	北尾菜々子	川上茉来	石坂優花	清水萌衣	左近充拓馬

副会長	放送委員長	書記	美化委員長	会長
宮本野杏	向井俊介	蒲生義隼	竹原晃多	富谷竜一



以上、写真の並び順に役職と氏名を紹介いたしました。本校で取り組む各種学校行事、教育委員会から指定を受けている社会力育成事業、その他にも新しい取り組みを考えて新しい伝統を創り上げていって下さい。

暦の上では立春です、もうすぐ春です。

2月4日は二十四節気の暦で言う『立春』にあたります。

立春とは、初めて春の兆しが現れてくるころのこと。この季節から数えて最初に吹く南よりの強い風が「春一番」です。



旧暦でいう立春から始まる新しい年に始めて汲んだ水を「若水」といって、昔は健康や豊作、幸せを招く水とされ大切に扱われていました。まず神棚にお供えをし、それから食事の仕度や洗顔に使います。また、その若水で入れたお茶を「福茶」といいます。

昔のような湧き水や井戸からではなくても、水道水でも、あらためて感謝の気持ちで受け取って、若水として福茶を入れてみてはいかがでしょうか。受験前にちょっと心を落ち着かせ、縁起かつぎにいかがですか。福が舞い込んでくるかもしれません。「気持ちを落ち着けて、ちょっと一休み」



2/10から私立高校入試が始まります

いよいよ、本年度の最初の難関、私立の入学試験が10日から始まります。学校によっては11日の祝日にも面接等を実施する学校もあるようです。

学科試験は今までに積み重ねてきた自分の力を信じて、途中であきらめずに最後までしっかりと取り組みましょう。難しいなと思ったときには順番を変えて他の問題から答えていきましょう。決められた時間内でどれだけ力が発揮できるかです。

面接は、1月に入ってから校長室でも練習をしてきました。みんな緊張しすぎて顔が引きつっていました。面接のポイントは、①礼儀作法、②服装・着こなし身だしなみ、③言葉づかい、④声の力、大きさ、元気さ、⑤高校生活への抱負・夢・希望等です。

人は見かけで判断してはいけません。と昔から言われていますが、面接試験はその逆です。いかに短時間でその人を判断するか、自分の良いところをアピールするか、見かけと、質問による対話・会話で判断しなければなりません。自分の思い、言いたいことを落ち着いて相手に伝えましょう。慌てると早口になったり声が小さくなり相手が聞き取りにくくなります。

服装・髪型など身だしなみも大切です。中学校の風紀規則を明らかに違反していると思われるような場合は、即、減点につながります。あまりに態度が悪かったり注意を聞き入れなかったらその場で試験中止（これは学力テストも面接も同じです）ということもあり得ます。昨年度もある公立高校の試験会場でカバンの中の携帯電話が鳴った生徒がいました。その時点で試験中止となり受験会場から出されてしまいました。こんなことの無いように注意事項は事前にしっかりと確認しておきましょう。

卒業式まであと 32日・君たちが主役だ！

2月を迎え、ついに卒業式まで後32日になりました。3年生の皆さん、この一年間一つ一つの行事をこれで最後、これで最後と惜しみながら思い出深く過ごしてきたことと思います。最後に君たちには「卒業式」という素晴らしい晴れの舞台が待っています。

先輩たちが築いてくれた伝統をさらに素晴らしい物へ。卒業生の素晴らしい歌声をぜひ聞きたいと、毎年楽しみにしておられるご近所の方々や歴代の校長先生、育友会の会長さんなど、君たちをここまで支えてきてくれた家族はもちろんのこと沢山の友達への感謝の気持ち込めて皆で感動のひとときを創り上げて、伝統のタスキを在校生へ繋いでいって下さい。

《今月のことば》

『 今を最高に生きる 』

～目の前のことに全力で生きていく～

人が夢や目標を持ち、それを実現していくという意義ある人生を歩むとき、大切なことが二つある。一つは、その夢や目標を常に忘れないでおくこと。

そして、もう一つは、その夢や目標に向かって行くために日々実践していくが、その1日1日を自分の全人生であるかのように最高に生きることだ。

『今という日を最高に生き、目の前のことに全力を尽くして』

生きていくこと自体が、素晴らしいことなのである。』